

第150期
株主レポート

平成20年4月1日～平成21年3月31日

株 主

● 明治グループ経営理念

私たちの使命は、「おいしさ・楽しさ」の世界を拓げ、
「健康・安心」への期待に応えてゆくこと。

私たちの願いは、「お客さまの気持ち」に寄り添い、
日々の「生活充実」に貢献すること。

私たち明治グループは、「食と健康」のプロフェッショナルとして、
常に一歩先を行く価値を創り続けます。

CONTENTS



健康事業につきましては、
選択と集中による主力ブランド
の強化により、全体として
順調に推移しました。健康・美
容分野では、「アミノコラーゲ
ン」は新商品の発売が寄与し、
競争激化のなか好調に推移し
ました。「ザバス」は減売とな

りましたが、「パーフェクトプラス」
は大幅に伸長し、主力ブランドに成長
しました。食品分野では、ココアは新
商品「コクがおいしいミルクココア」
が着実に露出の拡大を進め、シェアを
伸ばすなど、好卒ミルクココア」

とも好調に推移しました。明治制菓(上海)有限公司は、
ギフト商品が寄与し増売となりました。

フードクリエイイト事業につきましては、前期を上回
りました。業務用食材は、製菓材(チョコレート・コ
コア関連商品)が、外食チェーン・製菓メーカー・コ
ンビニエンスストアへの積極的な商品提案により伸長
しました。食材は、農産品や缶詰、業務用カレーが好
調に推移しましたが、全体では前期を下回りました。

国内連結子会社の株式会社明治フードマテリアは、
主力の砂糖事業、糖化穀粉事業が引き続き伸長し増売
となりました。

薬品事業は、昨年4月に実施された薬価改定の影響を受けましたが、営業力の強化と徹底的なコストダウンを推進してきました。この結果、連結売上高は1,129億56百万円(前期比0.3%減)となりました。なお、当期より、明治魯抗医薬有限公司を連結子会社としております。

医療用医薬品は、主力製品の拡売努力とジェネリック医薬品の増売などで薬価改定の影響をカバーし、前期並みの売上を確保しました。主力の抗菌薬「メイアクト」および抗うつ

薬「デプロメール」は、通常の薬価改定に加え特例引下げの対象となり減売となりました。一方、ジェネリック医薬品は、医療動向を見据えた取組みが奏功し、既存品

が順調に伸長しました。加えて、カルシウム拮抗薬「アムロジピン錠 明治」は、昨年7月の

で好調に推移しました。スペインのテデック・メイジ・ファルマ社およびタイ・メイジ・ファーマシューティカル社は、現地向け販売・輸出が順調に推移するも、円高の影響で減売を余儀なくされました。東南アジアのメイジ・インドネシア・ファーマシューティカル社は、円高の影響を受けながらも現地向け販売が好調で、増売となりました。

連結貸借対照表

(平成21年3月31日現在) 株式会社 富士通システムズ

連結損益計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

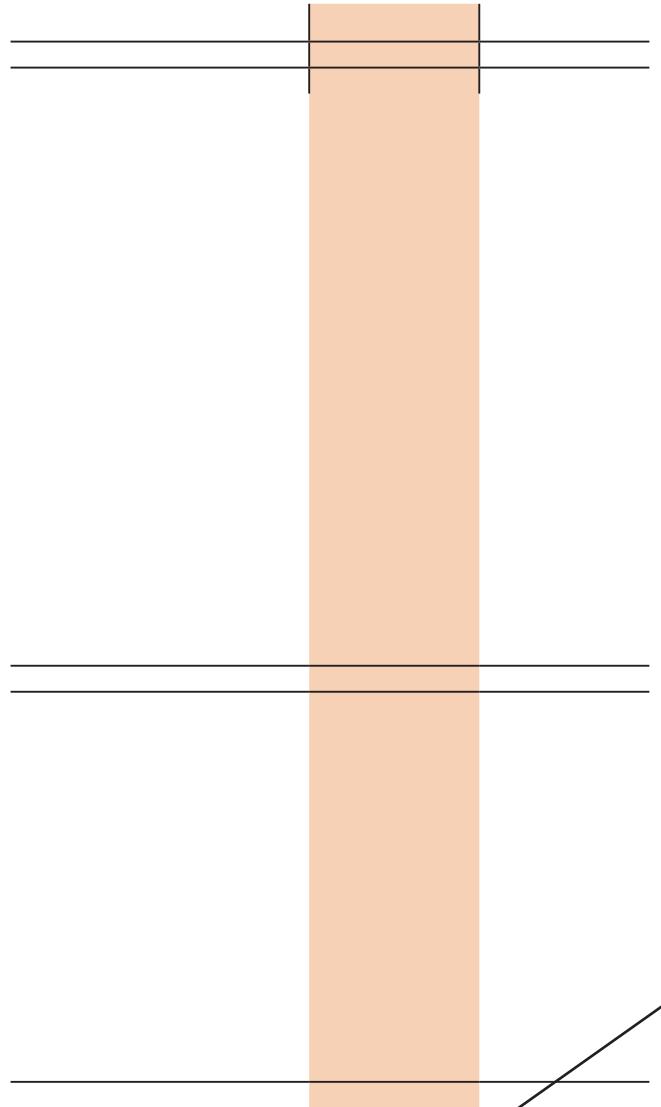
連結キャッシュ・フロー計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

科目	当期	前期
売上高	414,080	404,711
売上原価	246,110	234,228
返品調整引当金戻入額	90	70
差引売上総利益	168,060	170,553
販売費および一般管理費	157,261	157,827
営業利益	10,798	12,725
営業外収益	2,352	2,962
受取利息・配当金	790	1,044
持分法による投資利益		73
その他の営業外収益	1,561	1,845
営業外費用	3,541	3,987
支払利息	1,637	1,555
持分法による投資損失	304	
その他の営業外費用	1,600	2,432
経常利益	9,916	13,717
特別利益	1,593	2,261
固定資産売却益	1,428	1,739
投資有価証券売却益	0	462
その他の特別利益	165	59
特別損失	3,199	1,876
固定資産剥蝕	0	

单独貸借对照表

(平成21年3月31日現在)



単独損益計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	当期	前期
売上高	306,112	301,558
売上原価	156,015	148,957
返品調整引当金戻入額	90	70
差引売上総利益	150,187	152,670
販売費および一般管理費	142,830	142,875
営業利益	7,356	9,794
営業外収益	3,312	3,547
受取利息・配当金	1,699	1,753
雑収益	1,612	1,793
営業外費用	1,846	3,550
支払利息	1,466	1,379
雑損	379	2,171
経常利益	8,822	9,791
特別利益	1,855	2,454
固定資産売却益	1,422	1,718
投資有価証券売却益	0	462
債務保証損失引当金戻入益	271	
貸倒引当金戻入益	8	219
その他の特別利益	153	53

科目	当期	前期
特別損失	3,191	2,821
固定資産廃棄損	944	1,194
経営統合関連費用	854	
投資有価証券評価損	668	0
関係会社出資金評価損		798
製品回収費用	43	338
債務保証損失引当金繰入額		271
関係会社株式評価損	453	99
その他の特別損失	227	119
税引前当期純利益	7,487	9,423
法人税、住民税および事業税	3,557	2,842
法人税等調整額	54	1,347
当期純利益	3,984	5,234

(注) 1. 当期末の株数 31,131株 当期純利益 1,855,113円 前期純利益 2,454,131円

(注) 2. 当期末の株数 31,131株 当期純利益 3,984,099円 前期純利益 5,234,099円

フード&ヘルスケア

フランホイップス（苺、キャラメル）

フランの原点である“ホイップ”にこだわり、極限まで軽くふんわりとさせたホワイトショコラをココア味のビスケット軸にたっぴりとコートしました。

「フランホイップス苺」はフルーティな香りあふれる粒々苺ショコラでカバーし、「フランホイップスキャラメル」は香ばしい粒々マカダミア入りのキャラメルミルクショコラでカバーしました。

メルティーキッス ダークラム

「口溶け」と「なめらかさ」が特徴のメルティーキッス。

高品質なラムの香りとチョコレートのココが楽しめる大人の味わいです。

キシリッシュカラーボトル (クリスタルミント、フルーティミント、フレッシュレモン)

息、透きとおる！W
(ダブル)で息・キレイ！
ミントリーフ+ラッカー
ゼ配合で噛み心地とスッキリ感を改良。

定番のミドルミントタイプのクリスタルミント、ジューシーな味わいを強めて登場のフルーティなライトミントタイプのフルーティミントと、爽快レモンフレーバーのフレッシュレモンの3品がオフィス、家庭、車内に便利な、華やかに彩るカラーボトルで登場です。

キシリッシュオレンジベルガモット (ロングラスティング)

進化し続けるキシリッシュガム。全アイテムの品質を見直し、従来の「息スッキリ」に加え「味長持ち」を実現しました。

また木村拓哉さんを起用したコミカルなTVCMも話題となりました。

新製品として大人のオレンジ味「オレンジベルガモット」が登場し店頭を賑わしました。



木村 拓哉



アミコラの基本配合に「ヒアルロン酸
60mg」、「COQ10 10mg」を求められる



グループ理念

私たちの使命は、「おいしさ・楽しさ」の世界を拡げ、
「健康・安心」への期待に応えてゆくこと。

私たちの願いは、「お客さまの気持ち」に寄り添い、
日々の「生活充実」に貢献すること。

私たち明治グループは、「食と健康」のプロフェッショナルとして、
常に一步先に行く価値を創り続けます。

明治ブランドマーク



グループ理念を象徴する、私たちの明治ブランドマークです。

ふくよかで柔らかな書体、親しみのある小文字を使用することによって、「食と健康」の企業グループらしい明るさと、お客さま一人ひとりとのあたたかいつながりを表現しました。

「iji」の造形には、人びとが寄り添い支えあう姿を託しています。

ブランドカラーはレッド。躍動感や生命のよるこびを感じさせる色であり、人が生まれて最初に知る色でもあります。赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる世代の人びとのそばにあって、愛され続ける存在でありたいという思いを込めました。

この明治ブランドマークは、グループ理念を実践しようとする私たち自身の、志のシンボルです。

経営姿勢：5つの基本

1. 「お客さま起点」の発想と行動に徹する。
2. 「高品質で、安全・安心な商品」を提供する。
3. 「新たな価値創造」に挑戦し続ける。
4. 「組織・個人の活力と能力」を高め、伸ばす。
5. 「透明・健全で、社会から信頼される企業」になる。

行動指針：meiji way

お客さまの、パートナーの、仲間たちの、
「そばになくてはならない存在」であるために

1. お客さまと向き合って、お客さまから学ぶ。
2. 先を見る勘を鍛え、先駆ける技を磨く。
3. 仕事をおもしろくする、おもしろい仕事を創る。
4. 課題から逃げない、やりぬく気概と勇気を持つ。
5. チームの可能性を信じ、チームの力を活かす。

役員

(平成21年6月24日現在)

取締役および監査役

代表取締役
社長

従業員

(平成21年3月31日現在)

従業員数(前期比)	平均年齢	平均勤続年数
3,803名(37名減)	40.2歳	16.9年

(注) 従業員数には当社から他社への出向者が含まれており、
臨時従業員は含まれておりません。

〒104 - 8002

東京都中央区京橋二丁目 4 番16号

m i''



本冊子は、環境保全のため、
「大豆インキ」で印刷しています。